
取扱説明書

LOTUS Fume Hood ロータスシリーズヒュームフード

Model : LOG

REVISION:1.0.0

ORIENTAL

Thank you

このたびは「ロータスヒュームフード」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を十分にお読みのうえ、正しい使い方でご愛用いただきますようお願いいたします。

本製品には保証書が同梱されています。記載事項をよくご確認ください、大切に保管してください。



ご相談窓口

 **お電話で** [029-847-5005](tel:029-847-5005)

オリエンタルサポートセンター

受付時間: 月~金曜日 AM9:00~PM5:30 (土日祝日・弊社指定日を除く)

ホームページから <https://www.orientalgiken.co.jp/support/>

 **メールで** support@orientalgiken.co.jp

修理・サービスをご依頼される際には、下記の内容をご連絡ください。

- ☝ 故障の状況 (できるだけ詳しく)
- ☝ 製品情報 (製造番号/設置年月日/シリアルナンバー)
- ☝ 製品の汚染状況

※ 製品情報は本体のラベルに記載しています。詳しくは「[本体各部の名称](#)」をご覧ください。

※ 製品が汚染されている場合、事前に除染処理をお願いする場合があります。

目次

1.0 ご使用の前に.....	3
2.0 本体各部の名称.....	6
2.1.1 LOTUS シリーズ標準タイプ (LOG-ST 型)	6
3.0 据付け方法	7
4.0 各種機能・説明.....	7
4.1 操作スイッチ	7
4.2 サッシストッパー	7
4.3 コンセント	8
4.4 給水リモート	8
4.5 特ガスリモートハンドル (オプション)	8
5.0 メンテナンス.....	9
5.1 ヒュームフード保守管理.....	9
6.0 トラブルシューティング	13
6.1 ドラフトチャンバー	13
7.0 よくあるご質問.....	15
8.0 保証とアフターサービス	16
8.1 保証内容のご確認とお願い	16
8.2 保証期間について	16
8.3 保証ルール.....	16
8.4 無償修理規定.....	17
9.0 保守契約のご案内	18
10.0 参考資料.....	20

1.0 ご使用の前に

ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使い下さい。この取扱説明書に記載の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

誤った使い方によって生じる危害や損害を区分して表示しています。

！ 警告 「死亡または重症を負う恐れがある内容」を表示しています。

！ 注意 「軽傷を負う可能性や財産などの損害が発生する恐れがある内容」を示しています。









使用上お守りいただく内容を図記号で説明しています。

⊘ してはいけない内容を示しています。 ① しなければならない内容を示しています。




!警告

- ⊘ お客様ご自身で本機を修理、改造はしないでください。修理に関するご依頼は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談下さい。
- ⊘ 排気ファンが運転されていない状態で本機を使用しないでください。感電する恐れがあります。
- ⊘ 実験中は、頭をフード内に入れないでください。身体に異常をきたす恐れがあります。
- ⊘ 過塩素酸対応の機種以外では、過塩素酸は使用しないでください。発火、爆発などの恐れがあります。
- ⊕ サッシはストッパーの位置で使用してください。一定の面速が維持できなくなり、乱流・ガス漏れの原因になります。
- ⊕ サッシストッパーを解除する際は、ストッパーと取手の間に指を挟まないよう注意して動作を行ってください。
- ⊕ ヒュームフード庫内で高熱量のガスバーナー、又は電熱器を使用しないでください。ガス漏れの原因となります。使用する場合は当社へご相談下さい。
- ⊕ 装置や機器は、サッシ・内壁より 15cm 以上、作業面より 4cm 以上離してご使用ください。近すぎたり、バフ板の隙間を閉ざしたりしますと、乱流・ガス漏れの原因となります。ホットプレート、オーブンなどは、発火の原因になる場合があります。
- ⊕ サッシの開閉はゆっくりと行ってください。強い力で急激に開閉を行うと、ガラスの破損や乱気流・ガス漏れの発生原因となります。
- ⊕ 下台の内部に腐食性ガス、引火性ガス等の発生するものを収納しないでください。
- ⊕ 定期的に掃除などのメンテナンスを行ってください。風量・補修効率低下等の性能不良の原因となります。
- ⊕ ユーティリティ（電気・各種ガス・水等）配管・配線は定期的に点検を行ってください。点検を行わないと、漏電・ガス漏洩・漏水などにより思わぬ事故を招く原因になります。なお、弊社では特に漏水対策として、後から設置可能な漏水センサーをオプションでご用意しております。詳しくはお買い上げの販売店または[弊社サポートセンター](#)までお問合せください。

!注意

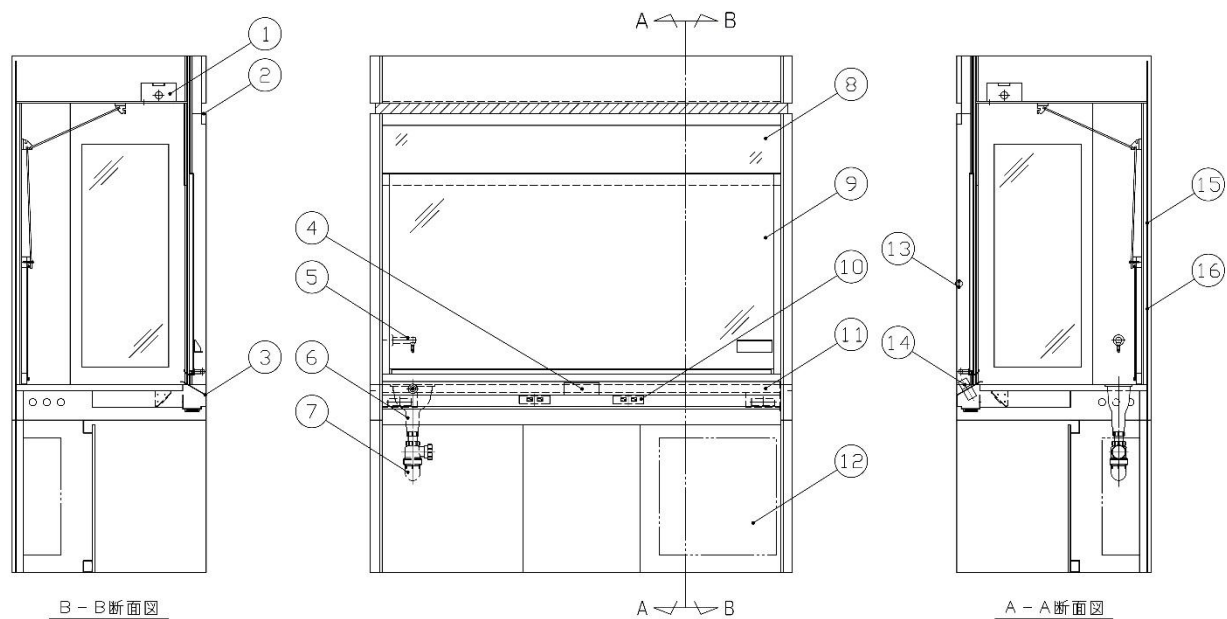
-  引火性、爆発性のあるガス雰囲気下では絶対に使用しないでください。本機は防爆構造ではありません。
-  フード内での実験操作及び観察は、サッシ越しに行ってください。身体に異常をきたす恐れがあります。
-  作業終了後、各種ガスや水のバルブを閉め、電源を OFF にしてください。
-  作業終了後、しばらくの間（5~10 分間）ファンを止めないでください。ガスが逆流する恐れがあります。
-  排気風量を定期的に（年 1 回以上）測定してください。性能が落ちている場合があります。
-  定期的にフード内を清掃してください。実験過程で発生したガスが、作業面や内壁に付着します。
-  排水経路に高温物（65°C以上）の物を流さないでください。変形や損傷による漏洩の恐れがあります。
-  高温の物を作業面に置く場合には、断熱材を使用してください。発熱する機器や高温の物を作業面に直接置きますと、損傷の恐れがあります。

未永くご使用いただくための注意

-  本製品は室内または屋内用です。屋外での使用や水濡れは、故障やさび・変色の原因となります。
-  可動部に注油しないでください。油が垂れて床や衣類を汚す原因になります。
-  直射日光やストーブなどの熱が直接当たる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。変色や変形・そりなどの原因となります。

2.0 本体各部の名称

2.1.1 LOTUS シリーズ標準タイプ (LOG-ST型)



- | | | |
|------------|--------------|----------|
| ① LED 照明 | ② ライン LED | ③ エアホイール |
| ④ 操作パネル | ⑤ 給水取出口 | ⑥ カップシンク |
| ⑦ 排水トラップ | ⑧ 垂れ幕ガラス | ⑨ サッシ |
| ⑩ コンセント | ⑪ 作業面 | ⑫ 制御盤 |
| ⑬ サッシストッパー | ⑭ 給水リモートハンドル | ⑮ ワイヤ |
| ⑯ ウェイト | | |

3.0 据付け方法

- ・ 使用場所を決定したら、アジャスターにて水平出しをし、動かないように固定してください。
- ・ 設置場所は水平が確保されている床に設置してください。
- ・ メンテナンスエリアを確保できる箇所に設置してください。

4.0 各種機能・説明

4.1 操作スイッチ

4.1.1 LED 照明スイッチ

1. 配電盤内のブレーカー（MCB）を ON にして下さい。
2. LED 照明スイッチを ON にすると、LED 照明、ライン LED が点灯します。

排気ファン連動スイッチタイプ

4.1.2

1. 配電盤内のブレーカー（MCB）を ON にして下さい。
2. 操作パネルの POWER スイッチを押すことで、排気ファン、サポートファンが作動します。
3. サーマルトリップやファンの異常等が発生した場合、操作パネルの MUTE ランプが点灯し、警報ブザーが鳴ります。その際 MUTE スイッチを押すとブザーが停止します。MUTE ランプは異常が解消されると消灯します。



4.2 サッシストッパー

- ・ サッシは、適正な面速で安全に使用するためにサッシストッパーの位置でご使用下さい。
- ・ 解除する際は、サッシストッパーを指で軽く摘み、手前側に回して取手に当たらない様にサッシをゆっくりと上げて下さい。解除後、サッシを降ろす際は、ストッパーから指を離しゆっくりとサッシを下げてください。

△サッシストッパーを解除した状態でサッシを昇降する際は、ストッパーと取手の間に指を挟まないよう注意してください。怪我をする恐れがあり大変危険です。



4.3 コンセント

- ・エアホイール内部に取り付けたコンセントは、各種作業の電源として使用できます。
- ・標準タイプご使用の場合は、両方合わせて AC100V 最大 15A 以内でご使用ください。

4.4 給水リモート

- ・給水は、エアホイールに取り付けたハンドルで開閉します。（右写真）



4.5 特ガスリモートハンドル（オプション）

- ・特ガスは、エアホイールに取り付けたハンドル（オプション）で開閉します。（右写真）



5.0 メンテナンス



- ・ メンテナンスを行う際には安全のため、保護メガネ、防護服、グローブなどの保護具を着用し、施設の安全管理者の指示に従って行ってください。
- ・ 必ず電源を停止してから作業を行ってください。

5.1 ヒュームフード保守管理

5.1.1 照明器具のメンテナンス

1. 配電盤内のブレーカーを OFF にして下さい。
2. 照明は天井からアクセスします。カバーを後方に向かって開け、ボックスに取り付けてある照明を取り外してください。

※照明を取り外す際は LED ランプの取り付けしているソケットがスプリング式のため凹みますので、ソケットを凹ませて取り外しを行えます。



3. 配線されている側のソケットと LED ランプのシール貼付側の向きを合わせて、新しい LED ランプをソケットへ取り付けしカバーを閉めてください。

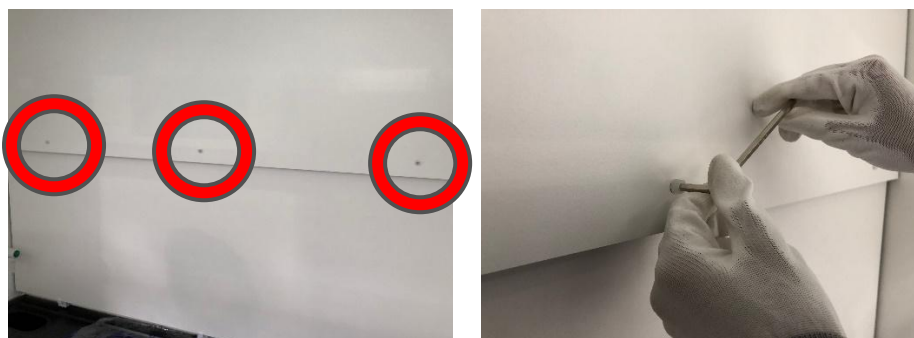
※電源供給は配線が行われているソケット側になります。配線がされていない側は断線しています。

※LED ランプを取り付ける際は、シールが貼付されている側を電源供給が行われているソケットに接続してください。（点灯しない場合は、向きが違う可能性がありますので、よく確かめて取り付けしてください）

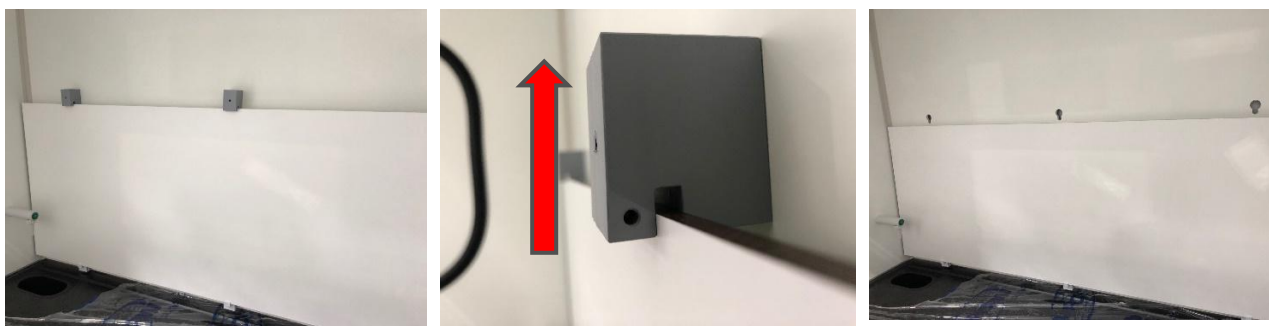
※本製品は、LED 照明専用です。LED ランプ以外の照明は使用しないでください。フィラメント焼損等が発生し大変危険です。

5.1.2 フード庫内の清掃

1. 庫内のバッフル板のビスを取り外してください。（中段部）
（ビスを取り外す際、バッフル板が落下しないように抑えながら取り外してください。）



2. 取り付けられているバッフル受けを上へスライドさせ取り外してください。（下段部）



3. 取り付けられている残りのバッフル板を上へスライドさせ取り外してください。（上段部）



4. すべてのバツフル板を取り除いたのち、ウエス等で庫内の清掃を行ってください。
- ・軽い汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
 - ・落ちにくい汚れは中性洗剤を少量布に含ませて、拭き取ってください。

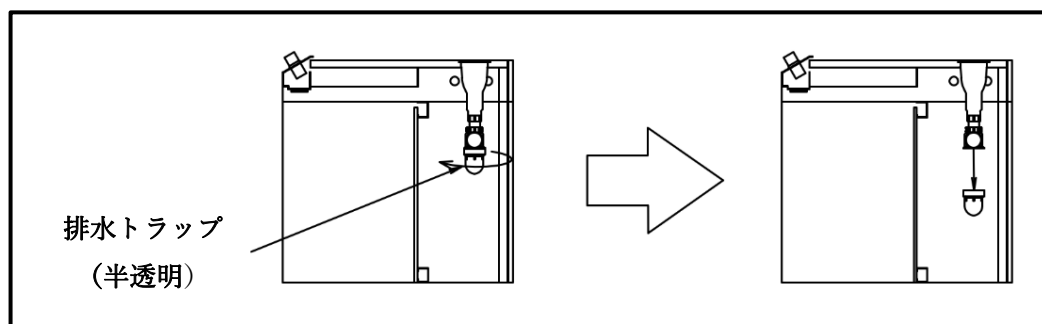


5.1.3 排水トラップの洗浄（レプシン及びハイセラ作業面）

1. 下台のケンドン板を上スライドさせて取り外してください。



2. 排水トラップを図のように回し取り外してください。
- 3.



(排水トラップを外す際、水がこぼれるためトレイ等をご使用ください。)

5.1.4 自主定期点検

- ・ ヒュームフード（囲い式・プッシュプル型換気装置）は以下の規定により外観・排気能力等を1年以内ごとに1回、定期自主点検することが義務付けられています。
- ・ ※巻末に局所排気装置点検・検査記録表・局所排気装置等検査成績書を添付してありますのでご利用下さい。
 - 有機溶剤中毒予防規則（第20条）
 - 特定化学物質障害予防規則（第30条）

6.0 トラブルシューティング

想定される不具合と、考えられる原因および対策を以下の表にまとめています。

6.1 ドラフトチャンバー

こんなとき	●確認する / ⇒こうする
操作パネルのランプが点灯せず、動作しない	●通電されていますか？ ⇒一次側の通電を確認してください。
	●配線が途中で断線していませんか？ ⇒すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターへ修理を依頼してください。
操作パネルのランプは点灯するが、排気が行われない	●配線が途中で断線していませんか？ ⇒すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターへ修理を依頼してください。
風量が足りない	●排風機の配線方向が逆になっていませんか？ ⇒配線を確認し、正しく配線し直してください。
	●ダクト系に予定以外の抵抗が入っていませんか？ ⇒ダクト系を確認し、その部分を取り除いてください。
短い時間でブレーカーが切れる	●コンセントの容量より多くの負荷をつないでいませんか？ ⇒コンセントにつないでいる負荷を減らしてください。
サッシの動きが極めて重い	●滑車からワイヤーが外れていませんか？ ⇒滑車にワイヤーを入れ、正常状態にしてください。
	●バランスウェイトのワイヤーが切断していませんか？ ⇒ワイヤーを交換してください。
給排気量が低下している	●ボリュームダンパーの角度がずれていませんか？ ⇒ボリュームダンパーを再調整してください。
	●ダクト内に粉塵等が堆積し、圧力損失が増大していませんか？ ⇒ダクト内を洗浄し、粉塵等を取り除いてください。
	●ファン、ダクトが破損していませんか？ ⇒破損部の修理をしてください。
	●ボルトが緩んでいませんか？ ⇒ボルトの締め直しをしてください。
	●給気ファン、排気ファンが故障していませんか？ ⇒修理を行うか、新しいものに交換してください。

内部照明が点灯していない	●ブレーカーが「OFF」になっていませんか？ ⇒ブレーカーを「ON」にしてください。
	●LED ランプが劣化していませんか？ ⇒LED ランプの交換をしてください。
コンセントに電気がきていない	●ブレーカーが「OFF」になっていませんか？ ⇒ブレーカーを「ON」にしてください。
	●電線が途中で断線していませんか？ ⇒すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターへ修理を依頼してください。
排気が行われない	●ブレーカーが「OFF」になっていませんか？ ⇒ブレーカーを「ON」にしてください。
	●操作パネルが故障していませんか？ ⇒操作パネルを修理するか、新しいものに交換してください。
アラームが発報し、MUTE ランプが点灯 (低風量タイプのみ)	●補助エアーファンが止まっていますか？ ⇒補助エアーファンの交換が必要です。お買い上げの販売店または 弊社サポートセンター までご連絡ください。

7.0 よくあるご質問

本製品に多く寄せられるご質問と回答を以下の表にまとめています。

ご質問	回答
特ガスのバルブを追加したい。	可能です。お買い上げの販売店または 弊社サポートセンター までお問い合わせください。
運転時の平均面速を教えてください。	(囲い式) 有機溶剤中毒予防規則仕様の場合、0.4m/s 以上 特定化学物質障害予防規則仕様の場合、0.5m/s 以上 (プッシュプル型換気装置) 0.2m/s 以上でバラツキが±50%以内
使用できない化学物質を教えてください。	ヒュームフードの種類によって推奨できない化学物質がありますのでご注意ください。 強酸性ガスや腐食性ガスを使用する場合は本体が錆びる可能性があります。ポリプロピレン製、もしくは硬質塩化ビニール製のヒュームフードをご使用してください。 また、過塩素酸をご使用の場合は過塩素酸対応ヒュームフードを (RGX-P) 選定してください。 また、樹脂を溶かしやすい性質の有機溶剤を使用する際は、内装を SUS 仕様に変更も可能です。 ご計画の段階で、お買い上げの販売店または 弊社サポートセンター にご相談ください。
庫内の気流解析情報はありますか。	資料がありますので、お買い上げの販売店または 弊社サポートセンター までお問い合わせください。
定格電力を教えてください。	最大で定格電力 1500W となります。
庫内清掃方法を教えてください。	5.0 メンテナンス をご参照ください。
製品の保証期間を教えてください。	8.0 保証とアフターサービス をご参照ください。
コンセントを増設したいです。	可能です。お買い上げの販売店または 弊社サポートセンター までお問い合わせください。
排気性能を検証してほしい。	お買い上げの販売店または 弊社サポートセンター までご相談ください。
定期点検をしてほしい。	お買い上げの販売店または 弊社サポートセンター までご相談ください。

8.0 保証とアフターサービス

8.1 保証内容のご確認とお願い

- ・ 本取扱説明書は、記載内容に基づき無償修理をお約束するものです。
- ・ 保証期間終了後の有償修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または[弊社サポートセンター](#)にお問い合わせください。

無償修理をご依頼の場合は、有効な「保証書」が必要になりますので、必要事項が記載されている事をご確認いただき大切に保管してください。

8.2 保証期間について

- ・ 保証期間は、お買い上げ日またはお引渡し日からラボファーマニチャー*は5年間、その他の機器は1年間となります。
*ラボファーマニチャーとは、各シリーズ（NOCE・RACINE・VALUEQUEST/Adaptable/Flexible・LAIMAN・Palma・Emotion）の実験台・流し台・試薬棚・木製薬品器具戸棚・移動式ユニット、並びにオールステンレス流し台・作業台・測定台・天秤台が対象です。
- ・ 消耗部品並びに駆動部品、劣化部品は、保証期間を含め有償とさせていただきます。

8.3 保証ルール

- ・ 本製品の作動を正常に保つために、年に一回の定期（有償）点検を推奨いたします。
修理を依頼されるときは・・・
- ・ 本製品には、別紙保証書が添付されています。修理、サービスを依頼される際に必要になりますので、紛失しないように大切に保管してください。
- ・ 注意：別紙保証書を紛失されますと保証対象外となる場合がございますのでご注意願います。
- ・ 本製品が故障したときは、お客様ご自身での修理は危険です。弊社またはお買い上げの販売店へご連絡ください。
- ・ 修理、サービス等を依頼される際は下記の内容をご連絡ください。
 1. 故障の状況（できるだけ詳しく）
 2. 製造番号
 3. 設置年月日
 4. 病原性、毒性の有無
 5. 装置の汚染状況(除染済み・汚染あり)※本装置が汚染している場合、事前に除染できる範囲は、お客様にて除染処理をお願いいたします。
- ・ 本保証は、本製品のみ適用されるものです。本製品で使用する機器・試料・動物等は保証の対象外になりますので、予めご了承ください。

8.4 無償修理規定

1. 保証書に記載された保証期間において、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で当社の責任と認められる故障が発生した場合は無償修理をさせていただきます。
-無償修理例-〔ラポファーニチャー〕
 - ・ レール、丁番等のビス緩み～外れの復旧
 - ・ ユニット接合部の緩みが原因で発生したがたつき、ぐらつきに関する修理
 - ・ 開き戸、引出等の可動部の動作不具合の調整
 - ・ 取手等外装パーツの緩みや外れの復旧
 - ・ 木口等の角部に発生したバリ等の面取り処理 等
2. 保証期間に故障し修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または[弊社サポートセンター](#)にご相談ください。その際、必ず保証書をご提示ください。
3. 保証期間が過ぎた場合、または保証期間内でも以下の場合には有料での修理となります。予めご了承ください。
 - イ) 保証書をご提示いただけない場合
 - ロ) 保証書にお客様のお名前記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ハ) 使用上の不注意、過失による不具合および当社サービスマン以外の第三者による修理・改造・不備による故障および損傷
 - ニ) 本書、本体ラベルに記載される警告・注意を守らず使用した場合、その他不適切な使用をした場合、または維持管理を怠った場合に起因する不具合や故障
 - ホ) 指定外の使用条件（高温、多湿、電源、電圧、電流、周波数、ガス、薬品など）を使用したことに起因する故障および破損
 - ヘ) 火災・水害・地震・凍結・落雷・その他災害や自然現象および公害環境や暴動等破壊行為に起因する故障および損傷
 - ト) 害虫や動物による故障や破損
 - チ) 砂、ゴミ、その他塵による不具合および故障
 - リ) 当社または指定業者による設置後の移動・輸送・落下などによる損傷
 - ヌ) 建築筐体の変形など、本製品以外に起因する故障および損傷
 - ル) 経年変化または消耗・摩耗・サビ・変質・変色・その他類似する事由による場合
 - ヲ) 消耗部品並びに駆動部品、劣化部品の交換および修理
 - ワ) 傷などの不具合でお引き渡し時に申し出の無かったもの
 - カ) 保証期間終了後に申し出のあったもの、または保証該当事項が発生したにも関わらず速やかに申し出のなかったもの
 - ヨ) お引き渡し時点で実用化されていた技術で予防することが不可能な現象またはそれらに起因する故障および破損
4. 本書及び保証書は日本国内でのみ有効となります。
5. 本書及び保証書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

「上記保証は当社による保証の全てであり、明示または黙示を問わずその他の保証はなされません。また、商品性及び特定目的への適合性に関する黙示の保証はなされません。」

9.0 保守契約のご案内



保証期間を過ぎている場合、又は保守契約を結んでいない場合の
故障診断技術料は有償になります。

故障診断技術料 = 基本技術料 + 出動諸経費

お客様の安全を様々なリスクから守るために、
ORIENTALでは年間保守契約“ベーシックケア”を提供しております。

ベーシックケア(年間保守契約)

定期点検の基本プランです。毎年の契約更新日に、部品交換作業や追加点検を予防保全的にオプション設定することが選択できます。点検時に発見された不具合も追加オプションとして修理対応することが可能な保守契約です。

※対象の製品によってプランは異なります。詳しくはお問い合わせください。

スポット点検(保守契約なし)

契約に加入せずにお客様のご用命により、都度手配・対応いたします。対象箇所が保証期間外の場合には、修理工料、部品交換代、出張費などからなる修理料金をその都度ご請求させていただきます。

	ベーシックケア (年間保守契約)	スポット点検 (保守契約なし)
定期点検	1回分込み ^{*1}	都度お見積り
故障診断技術料	無償	有償
指定部品の交換作業料	優遇価格 ^{*2}	通常価格
その他部品の交換作業料	通常価格 ^{*2}	通常価格

*1) 2回以上の点検をご希望の場合はオプション設定が可能です。

*2) 交換に必要な部品代は別途お見積りをさせていただきます。



ご相談窓口

 **お電話で** [029-847-5005](tel:029-847-5005)

オリエンタルサポートセンター

受付時間: 月~金曜日 AM9:00~PM5:30 (土日祝日・弊社指定日を除く)

ホームページから <https://www.orientalgiken.co.jp/support/>

 **メールで** support@orientalgiken.co.jp

修理・サービスをご依頼される際には、下記の内容をご連絡ください。

故障の状況 (できるだけ詳しく)

製品情報 (製造番号/設置年月日/シリアルナンバー)

製品の汚染状況

※製品情報は本体のラベルに記載しています。詳しくは「[本体各部の名称](#)」をご覧ください。

※製品が汚染されている場合、事前に除染処理をお願いする場合があります。

修理等のご相談時にいただいた個人情報のお取り扱いについて

- 1) オリエンタル技研工業株式会社は、お客様の個人情報をお客様の対応や修理及びその確認時に利用し、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 2) 次の事項を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - a) 修理やその確認業務、輸配送を委託する場合。
 - b) 法令の定める規定に基づく場合。

10.0 参考資料

局所排気装置点検・検査記録表

- 装置を初めて使うときの点検
- 定期自主検査
- 再使用開始時検査
- 分解して改造修理時点検
- 作業主任者の点検

施設名				検査日	年月日
設置箇所				検査者	
系統 No.				判定	良好・要改善
区分	適用	検査・点検項目	方法	判定基準	判定
フード		1. 摩耗、腐食、くぼみ	目視	腐食、変形がないこと	
		2. 開口面付近の障害物	目視	障害物がないこと	
		3. 開口面の向き	目視	飛散方向に正しく向いていること	
		4. フードの吸込気流	発煙管	煙が逃げないこと	
		5. 空調扇風機等の障害気流	発煙管	煙が逃げないこと	
ダクト		1. 摩耗、腐食、くぼみ	目視	腐食、変形がないこと	
		2. 塵埃などの堆積	目視	多量にないこと	
		3. 接続部のゆるみ、ボルトの欠損	目視、作動	漏れがないこと、締付が充分であること	
		4. ダンパーの作動状態	作動	軽い力で作動すること	
ファン		1. ベルトの滑り、軸受の摩耗	目視、作動	張りが適正でガタがないこと	
		2. インペラーへの粉塵等の付着	目視	作動に影響がないこと	
		3. ケーシングへの粉塵等の付着	目視	作動に影響がないこと	
		4. 駆動部の注油状態	目視	適正な油量であること	
		5. 振動、異音	作動	異常な振動、音が発生していないこと	
		6. 過熱	目視	異常な熱を発生していないこと	
性能		1. 制御風速	風速計	基準値 (m/sec) 以上のこと	別紙
		2. 制御濃度			
備考 (特記事項、補修時の内容を記入する)					
補修担当者氏名				補修年月日	年月日
(保存 年 月 日まで)					

局 所 排 気 装 置 等 検 査 成 績 書

施 設 名																						
設 置 場 所																						
系 統 No.																						
測 定 箇 所	開口部を、一辺0.5m以下となるように16以上(フードの開口が著しく小さい場合は、2以上)の部分に分割しその部分の中心点で測定を行う																					
	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">16</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">17</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">18</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">19</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table>			16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	6	7	8	9	10	1	2	3	4
16	17	18	19	20																		
11	12	13	14	15																		
6	7	8	9	10																		
1	2	3	4	5																		
備 考	有害物質 : 制御風速 :																					
所 在 地																						
検 査 者		検査年月日	年 月 日																			
検 査 項 目	制御風速																					
測 定 器																						
測 定 点	測定値(m/ s)	測 定 点	測定値(m/ s)																			
1		10																				
2		11																				
3		12																				
4		13																				
5		14																				
6		15																				
7		16																				
8		17																				
9		18																				
設 計 値	m/ s	実測値 (最小値)	m/ s																			